

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 26 年 8 月 14 日 (2014.8.14)

【公表番号】特表 2013-533510 (P2013-533510A)

【公表日】平成 25 年 8 月 22 日 (2013.8.22)

【年通号数】公開・登録公報 2013-045

【出願番号】特願 2013-518480 (P2013-518480)

【国際特許分類】

G 0 2 B 5/30 (2006.01)

B 3 2 B 27/36 (2006.01)

C 0 8 G 63/185 (2006.01)

【F I】

G 0 2 B 5/30

B 3 2 B 27/36

C 0 8 G 63/185

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 6 月 20 日 (2014.6.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 2 0 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 2 0 3】

本発明の範囲及び趣旨から逸脱することなく本発明の様々な修正形態及び変更形態が、当業者には明らかであり、また、本発明は、本明細書に記載した例及び実施形態に限定されないことが理解されるべきである。

以下に、本願発明に関連する発明の実施形態について列挙する。

〔実施形態 1〕

多層光学フィルムであって、

交互の第 1 及び第 2 の光学層を備え、

前記第 1 の光学層が、第 1 のカルボキシレートモノマー及び第 1 のジオールモノマーに由来する第 1 のポリエステルを含み、前記第 1 のカルボキシレートモノマーが、約 5 ~ 約 50 mol % の 4, 4' - ビフェニルジカルボキシレートを含み、

前記第 1 及び第 2 の光学層が、少なくとも 0.04 異なる、少なくとも 1 つの軸線に沿った屈折率を有する、多層光学フィルム。

〔実施形態 2〕

4, 4' - ビフェニルジカルボキシレートが、約 20 ~ 約 45 mol % の量で存在し、前記第 1 のカルボキシレートモノマーが、テレフタレートを含み、実施形態 1 に記載の多層光学フィルム。

〔実施形態 3〕

前記第 1 のカルボキシレートモノマーが、4, 4' - ビフェニルジカルボキシレート及びテレフタレートから本質的になる、実施形態 2 に記載の多層光学フィルム。

〔実施形態 4〕

前記第 1 のカルボキシレートモノマーが、ペンダントイオン基を有するジカルボキシレートモノマーを含み、実施形態 1 に記載の多層光学フィルム。

〔実施形態 5〕

ペンダントイオン基を有する前記ジカルボキシレートモノマーが、前記第 1 のカルボキシレートモノマーの総モルに対して約 5 mol % 未満の量で存在する、実施形態 4 に記載

の多層光学フィルム。

[ 実施形態 6 ]

前記第 1 のジカルボキシレートモノマーが、テレフタレート及びジメチルスルホイソフタレートを更に含む、実施形態 1 に記載の多層光学フィルム。

[ 実施形態 7 ]

前記第 1 のジカルボキシレートモノマーが、4, 4' - ビフェニルジカルボキシレート、テレフタレート、及びジメチルスルホイソフタレートから本質的になる、実施形態 6 に記載の多層光学フィルム。

[ 実施形態 8 ]

4, 4' - ビフェニルジカルボキシレートが、約 4 ~ 約 37 mol % の量で存在し、前記第 1 のカルボキシレートモノマーが、テレフタレート及びナフタレンジカルボキシレートを更に含む、実施形態 1 に記載の多層光学フィルム。

[ 実施形態 9 ]

前記第 1 のジカルボキシレートモノマーが、4, 4' - ビフェニルジカルボキシレート、テレフタレート、及びナフタレンジカルボキシレートから本質的になる、実施形態 8 に記載の多層光学フィルム。

[ 実施形態 10 ]

4, 4' - ビフェニルジカルボキシレートが、約 5 ~ 約 25 mol % の量で存在し、前記第 1 のカルボキシレートモノマーが、ナフタレンジカルボキシレートを更に含む、実施形態 1 に記載の多層光学フィルム。

[ 実施形態 11 ]

前記第 1 のカルボキシレートモノマーが、4, 4' - ビフェニルジカルボキシレート及びナフタレンジカルボキシレートから本質的になる、実施形態 10 に記載の多層光学フィルム。

[ 実施形態 12 ]

前記第 2 の光学層が、第 2 のポリエステルを含む、実施形態 1 に記載の多層光学フィルム。

[ 実施形態 13 ]

多層光学フィルムであって、

交互の第 1 及び第 2 の光学層を備え、

前記第 1 の光学層が、第 1 のカルボキシレートモノマー及び第 1 のジオールモノマーに由来する、第 1 のポリエステルを含み、前記第 1 のカルボキシレートモノマーが、約 20 ~ 約 50 mol % の 4, 4' - ビフェニルジカルボキシレートと、ペンダントイオン基を有する約 0.1 ~ 約 5 mol % のジカルボキシレートモノマーとを含み、

前記第 1 及び第 2 の光学層が、少なくとも 0.04 異なる、少なくとも 1 つの軸線に沿った屈折率を有する、多層光学フィルム。

[ 実施形態 14 ]

前記第 2 の光学層が、第 2 のポリエステルを含む、実施形態 13 に記載の多層光学フィルム。

[ 実施形態 15 ]

前記第 1 の光学層の  $n_{x,y}$  が、少なくとも約 0.18 である、実施形態 1 ~ 14 のいずれか一項に記載の多層光学フィルム。

[ 実施形態 16 ]

前記第 1 の光学層の  $n_{y,z}$  に対する  $n_{x,y}$  の比が、少なくとも約 3 である、実施形態 1 ~ 15 のいずれか一項に記載の多層光学フィルム。

[ 実施形態 17 ]

前記第 1 の光学層の  $n_{y,z}$  に対する  $n_{x,y}$  の比が、少なくとも約 8 である、実施形態 1 ~ 16 のいずれか一項に記載の多層光学フィルム。

[ 実施形態 18 ]

前記第 1 の光学層の  $n_{y,z}$  に対する  $n_{x,y}$  の比が、少なくとも約 15 である、実施

形態 1 ~ 17 のいずれか一項に記載の多層光学フィルム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

多層光学フィルムであって、

交互の第 1 及び第 2 の光学層を備え、

前記第 1 の光学層が、第 1 のカルボキシレートモノマー及び第 1 のジオールモノマーに由来する第 1 のポリエステルを含み、前記第 1 のカルボキシレートモノマーが、約 5 ~ 約 50 mol % の 4, 4' - ビフェニルジカルボキシレートを含み、

前記第 1 及び第 2 の光学層が、少なくとも 0.04 異なる、少なくとも 1 つの軸線に沿った屈折率を有する、多層光学フィルム。

【請求項 2】

4, 4' - ビフェニルジカルボキシレートが、約 20 ~ 約 45 mol % の量で存在し、前記第 1 のカルボキシレートモノマーが、テレフタレートを更に含む、請求項 1 に記載の多層光学フィルム。

【請求項 3】

前記第 1 のカルボキシレートモノマーが、4, 4' - ビフェニルジカルボキシレート及びテレフタレートから本質的になる、請求項 2 に記載の多層光学フィルム。

【請求項 4】

前記第 1 のカルボキシレートモノマーが、ペンダントイオン基を有するジカルボキシレートモノマーを更に含む、請求項 1 に記載の多層光学フィルム。

【請求項 5】

ペンダントイオン基を有する前記ジカルボキシレートモノマーが、前記第 1 のカルボキシレートモノマーの総モルに対して約 5 mol % 未満の量で存在する、請求項 4 に記載の多層光学フィルム。